

- 1 ねらい
 - ・人や環境を大切に作る技術について調べ,生活における省エネルギーの方法を考える。
- 2 準備
 - ・ワークシート(No.8)
 - ・資料「図表で見る 資源・エネルギー」(社)家庭電気分科会 (H15.4に全国中学校に配布済み 東京電力にて入手可能)
- 3 展開

学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を知る。 ・人に優しいデザインがなぜ必要なのかを考える。 ・環境に優しい工夫がなぜ必要なのかを考えさせる。 ・自分たちにもできる省エネルギーについて考える。 ・本単元の学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習目標は「人や環境を大切に作る技術について調べ,生活における省エネルギーの方法を考える」ことを知らせる。 ・障害者や高齢者の生活を想起させ,人に優しいデザインの必要性を考えさせる。なお,「バリアフリーデザイン」と「ユニバーサルデザイン」について説明を加える。 ・今まで学習してきた環境とものづくりとの関わりについてのまとめとなる部分であるので,生徒の意見を十分引き出す。 ・省エネルギーやリサイクル等の環境保全対策についても触れる。 ・ワークシート(No.8)の省エネルギー度をチェックさせる。質問については自分というよりは,家族全体を見て答えさせ,家族の省エネルギーにも目が向けられるようにする。 ・資料の p18 を参照させ,日常のちょっとした工夫や気遣いで多くのエネルギーや家計費の節約と,地球環境の保全に役立つことに気づかせる。 ・今までの学習から,地球環境を保護することの大切さや必要性,資源やエネルギーを有効に活用することの大切さを理解し,一人一人の小さな実践が地球環境を保護し,守ることにつながることを確認し,実践意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に優しいデザインの必要性について,自分の考えを発表できる (関・知) ・環境に優しい工夫がなぜ必要なのか,自分の考えを発表ができる。(関・知) ・自分たちの生活における具体的な省エネルギーの方法を考えることができる。(関・知)